

ジュエリーミュージアム

甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階やまなしプラザ内
TEL 055-223-1570 FAX 055-223-1572

企画展

Koo-fuの10年 甲府から世界へ

本展では、2008年に誕生した山梨発の産地ジュエリーブランドKoo-fu(クーフー)の10年を振り返り、プロジェクトの軌跡をたどります。企業の垣根を越えて制作されるKoo-fuコレクションは、そのメインテーマである「自然で繊細な優美」を雄弁に語りかけてきます。山梨から世界へ発信する産地ブランドKoo-fuをより深く知る機会として、お楽しみください。

開催期間／～6月11日(月)
観覧料／無料



バングル《I am tender》
デザイン:大森弘子 制作:(株)イノウエ 2017年

リング《朝露 -Asatsuyu-》
デザイン:北山睦美 制作:(株)近藤宝飾 2014年

リング《SAKURA》
デザイン:大寄智彦 制作:貴石彫刻オオヨリ 2009年

県立考古博物館

甲府市下曾根町923
TEL 055-266-3881 FAX 055-266-3882

開館35周年記念特別展 古代アンデス文明展

南米大陸の太平洋岸では、南北4000キロメートル、標高差4500メートルにも及ぶ壮大なスケールの大地を舞台に、約1万5千年もの間、ナスカ、モチェ、インカといった多種多様な文化の盛衰が繰り返されました。本展は、TBSテレビが20年以上にわたりアンデス文明の謎を追い続けた「TBSアンデス・プロジェクト」の集大成ともいえる展覧会です。巨大で複雑な文明の魅力を、厳選した貴重な品々とともに紹介します。

開催期間／5月19日(土)～7月16日(月・祝)
観覧料／一般・大学生1,080円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



チリバヤ文化(インカ以前)のミイラ
紀元900年～1440年頃



黄金製の神像(モチェ文化)
紀元200年～800年頃

県立科学館

甲府市愛宕町358-1
TEL 055-254-8151
FAX 055-240-0168

プラネタリウム「海王星発見物語

～発見にまつわる大人の事情～

1846年に発見された海王星は、科学の力が発見した惑星ともいわれています。その科学者たちのたゆまぬ努力とさまざまな人間模様を、実話を基に、3頭身のペーパーマベツが映像になった演出でコミカルに展開します。



開催期間／～7月16日(月・祝)
観覧料／大人310円、小・中学生、高校生120円(入館料別途)
幼児120円(入館は無料)
※土曜日は、高校生以下入館無料

富士山科学研究所

富士吉田市上吉田字剣丸尾5597-1
TEL 0555-72-6206
FAX 0555-72-6183

「富士山サイエンスラボ」オープン記念イベント

富士山の自然や、自然と人との関わりについて、分かりやすく紹介する展示スペース「富士山サイエンスラボ」が、4月1日にオープンします。記念イベントとして、研究員が展示を解説したり、個別質問に応じたりします。



富士山サイエンスラボに展示する
「赤色立体地図による富士山の立体模型」
(アジア航測 作製)

開催日時／4月1日(日)午前10時～正午
4月7日(土)午前10時～正午、午後1時～3時
参加料／無料

県立美術館

甲府市貢川1-4-27
TEL 055-228-3322 FAX 055-228-3324

愛されて40年『100万回生きたねこ』 佐野洋子の世界展

世代を超えて読み継がれ、平成29年に出版40周年を迎えた、佐野洋子作の絵本『100万回生きたねこ』。

本展では、その原画(特別出品)を中心に、そのほかの代表的な絵本の原画、エッセイの原稿、女性や猫などを描いた銅版画作品合わせて約100点を展示します。絵本作家・エッセイスト・画家である佐野洋子(1938~2010)のユニークで豊かな世界をお楽しみください。

開催期間／4月21日(土)~6月17日(日)
観覧料／一般1,000円 大学生500円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



『100万回生きたねこ』作・絵・佐野洋子(講談社 刊)

県立博物館

笛吹市御坂町成田1501-1
TEL 055-261-2631 FAX 055-261-2632

企画展 芳年 激動の時代を生きた鬼才浮世絵師

月岡^{よしとし}芳年は、江戸から明治にかけて日本が激動する時代に活躍した浮世絵師です。浮世絵の需要が失われつつあった当時において最も大成した絵師である芳年は、幅広い画題を手掛け後世に多大な影響を与えました。

本展では、世界屈指の芳年コレクターとして知られる西井正氣氏所蔵作品のうち、代表作を展示するほか、山梨で発見された芳年作の肖像画など、山梨と芳年との関わりを示す作品も併せて紹介します。

開催期間／~5月14日(月)
観覧料／一般500円 大学生250円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



『月百姿 吉野山 夜半月 伊賀局』
1886(明治19)年



『義経記五條橋之図』1881(明治14)年

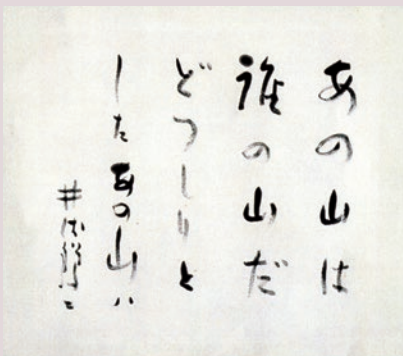
県立文学館

甲府市貢川1-5-35
TEL 055-235-8080 FAX 055-226-9032

特設展 生誕120年 井伏鱒二展 旅好き 釣り好き 温泉好き

『山椒魚』『ジョン万次郎漂流記』『黒い雨』などの名作を残し、昭和期の日本文学を代表する作家・井伏鱒二(1898~1993)。その生誕120年を記念し、本展では、小説の取材や趣味の川釣りのため訪れた下部温泉・増富ラジウム温泉・富士北麓、疎開した甲府など県内各地に残した鱒二の足跡や、俳人の飯田蛇笏・龍太親子との交流を、原稿、書簡、書画などの資料を通してたどります。

開催期間／4月28日(土)~6月17日(日)
観覧料／一般320円 大学生210円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



『あのは誰の山だ どつしりとしたあのは山ハ』軸装
(個人蔵 山梨県立文学館寄託資料)



取材のため下部温泉を訪れた井伏鱒二
1966(昭和41)年5月